

Radio

環境情報や活動情報などを発信していくためにコミュニティFMやインターネット放送を行っているチームです。現在、FMアップル(76.5Mhz)で毎週火曜日19:30~20:00放送中。



オーガニックファーム

石狩市にある、「はるきちオーガニックファーム」と連携し、畑をフィールドとした活動を通して、人と人、人と自然の循環やつながりを伝える活動を行っているチームです。



サイクルシェアリング ポロクル

自転車利用のマナーやルールの向上についての情報発信、自転車とエコ、地域経済振興などを考え、社会に提案していくためのチームです。

ROCK THE FARM
—新琴似ふれあい農園—

新琴似にある農園で区画を借りながら、農園の運営管理のお手伝いと、人と人のコミュニケーションを生み出す活動をしているチームです。

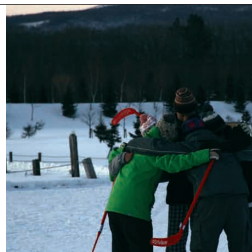


釜石支援

現地で活動中の、岩手県釜石市出身の仲間を応援しているチームです。長期・短期ボランティアのコーディネートなどを行っています。

ふくしまキッズ(北海道)
ボランティア

長期休みに福島県の子どもを北海道で受入れる「ふくしまキッズ(北海道)」のボランティアチームです。



Information

募集 事務所の床塗り

事務所が移転してまもなく1年が経ちます。この1年間沢山の方が来てくださいました。そんなみなさまの足下を支えてくれた事務所の床塗りをしたいと思います。是非、ご参加ください！



日程 2012年3月3日(土)・3月4日(日)
時間 19:00~21:00

場所 ezorockコミュニティスペース

参加方法

事前に「床塗り参加・氏名・電話番号」を011-562-0081またはinfo@ezorock.orgへお願いします。



お知らせ オリエンテーションの実施

ezorockの会員だけど、深く関わったことのない人、どんな活動をしているのか実は知らない人など、話を聞きにきてみませんか？お気軽にお越し下さい。

日時 毎週木曜日 18:30~19:00

場所 ezorockコミュニティスペース

参加方法 事前に事務局(011-562-0081)までご連絡ください。

Let's クリック Facebook、Twitter やってます

 200「いいね」突破しました！
<http://www.facebook.com/ezorock/>

 2012年1月現在、1,743フォロワーがいます！
<http://twitter.com/ezorock/>

代表の小言

ミニ四駆を作りながら、プロセスに参加する価値を考える

昨年、十数年ぶりにミニ四駆を購入してみた。ミニ四駆とは、小型のモーターがついたプラモデルのようなもので、私の小学生時代に全国で大ブレイクしたものだ。
「最近の子供たちは、どうやら自分で作れないらしい」というウワサを聞いていたので、実際に、自分で試してみた。箱を開けてみると、大小様々なパーツが。正直なところ、つくれないことはないが、予想以上に難しい。確かにこれなら作れない人がいてもおかしくないかもしれない。
作っていると、ミニ四駆は、なぜ未完成状態で販売しているのか疑問が湧いてきた。意図的なのか、それともコスト面なのか、かわからないが、この「未完成」というものが、実はとても大きな価値のような気がしてならない。完成した後、事務所まで走らせて見ると、異様な盛り上がり。最近では味わったことの無い達成感。
「そうか！未完成な部分がないとプロセスに参加できないんだ！」という当たり前のことに気がついた。
まちづくりや様々な計画などに市民参加とはよく使われる言葉だが、その多くは言葉として使われていて、主体的に市民が参加しているケースはまれである。この未完成の部分に、参加する機会を作り出せるかどうかが市民主体のまちづくりの成功の大きなポイントとなりそう。

(草野竹史)

環境NGOezorock 会員向け情報誌 vol.12 2012.2

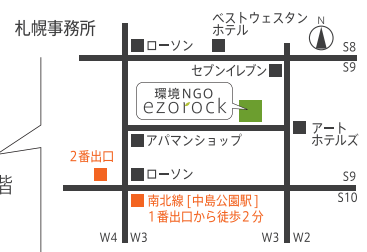
Rock The Life! ezorock

札幌 〒064-0809 札幌市中央区南9条西3丁目1-7

函館 〒040-0053 函館市末広町4番19号函館市地域交流まちづくりセンター 3階

TEL/FAX(札幌事務所) 011-562-0081 E-mail info@ezorock.org

WEB <http://www.ezorock.org/>



環境NGO
ezorock
www.ezorock.org

20120201

Rock The Life! ezorock

2012.2
vol.12



今月の写真

この写真は2011年の11月に撮影されたもので、ROCK THE FARMチームが参加したときの様子です。毎月、各プロジェクトチームがラジオに参加し、それぞれ行っている活動の報告を放送しています。

このニュースレターはボランティアスタッフが1枚1枚折っています。



伝えるちからをつける時間 ラジオチーム

🗨️ラジオチームの始まり

2005年からコミュニティFMさっぽろ村ラジオで放送が始まり、番組名は『rock the life ezorock』と名づけられました。そう、この環境NGOezorock会員向け情報誌と同じ名前です。その当時のメンバーが考えた名前で、「ezorockがあなたの生活を揺るがし変化させます。」という意味を込めてつけられました。

🗨️より多くの人へ発信をめざして

2007年からはより多くの人に聞いてもらいたいという想いでインターネッ

トラジオを開始しました。インターネットラジオの番組名も『rock the life ezorock』。ミキサーやマイクを購入し、事務所で自分たちだけで収録から発信まで行なっていました。

2008年からはラジオカロスサッポロで『エコラジアンBOX』という番組を開始し、インターネットラジオとラジオカロスサッポロで放送を開始しました。

🗨️地域に根付く情報の発信

2010年からはFMアップルにて、パーソナリティ塚本香さんがお送りする番組内で時間を頂き『Life Link

ezorock』という番組を放送中です。プロのパーソナリティの方と共に放送する番組は初めての活動でしたが、今まで行なってきた番組に比べてもより有意義な番組を作成できるようになってきたのではないかと考えています。そして最近では、放送内容もだんだんと変化しています。ezorockで行なっている活動の事前広報・事後の活動報告や、市内の団体や地域、商店街などで活動をしている方をゲストとしてお招きし、他団体の情報発信も行なっています。以前のラジオと大きく変化したことは、体験・経験していることをテーマとして取り扱っていること。体験・経験

したことであるからこそその説得力のある「新しい選択肢の提供」ができるようになってきているのではないかと思います。また、「伝える若者の育成」も大切にしています。ラジオを通して音声でしか語りかけることができないリスナーの方々に分りやすく伝えることは、非常に技術が必要なことです。「伝えたいことを分りやすく、心に響くように伝える」常に意識しながら、番組作りを進めることで、こうした技術の向上も目指しています。情報を発信することは難しいことです。ですが、練習すれば必ず上手になっていきます。一緒に「話上手」を目指しながら、情報発信をしてみませんか？
文 大熊啓介



ラジオの歴史



2005
2006 さっぽろ村ラジオ FM81.3MHz
「rock the life ezorock」



2007
2008 インターネット放送
「rock the life ezorock」



2008
2009 ラジオカロスサッポロ FM78.1MHz
「rock the life ezorock」



2010
現在 FMアップル FM76.5MHz
香るパラダイス内「Life Link ezorock」

ezorockers no.6



平岸高校
今 佐結奈 さん(18)
あだ名：こんちゃん
ezorock 歴：1年8ヶ月

楽しくてはまっちゃったって感じ

●ezorockに参加したきっかけと理由

EarthDayEZO2010に友人に誘われたのがきっかけで、最初はただ装飾作りのお手伝いをしに行っていたという感じでした。結局、当日ボランティアとして参加することになり新鮮だったし、さまざまな年齢の人がいて色んな話がきけて、楽しくてはまっちゃったって感じです。特に環境について興味があって参加したとかではなくて、ただ楽しくて参加してました。

●自分にとってのezorockとは？

RSRでボランティアコーディネーターやボロクル、ラジオ、事務所改装のお手伝いとか、本当に色々な活動に参加させてもらって、だいぶ成長したんじゃないかと思います。高校生のうちにこんなにたくさんの事を経験出来るところってあんまりない気がします。ミー

ティングで何か一つの課題に対してみんなでどうしたらよくなるかとか考えたことも無かったので、自分の意見を聞いてもらったり、他の人の意見を聞いたり本当に学びが多いです。こういう場が身近にあるのはとてもありがたいです！

●将来の夢

夢や目標はいくつかあるんですけど、1番は写真で日本を変えることです！HAPPYにします！あと、今まで関わってきた人達に恩返しをしたいです。わたしは今後もezorockで活動していきたいと思っているので、みなさんとまた一緒に活動できる日を楽しみにしています！



教育大学 岩見沢校
鈴木 彩音 さん(22)
あだ名：あやちゃん
ezorock 歴：5ヶ月

より北海道が好きになりました。

●ezorockに参加したきっかけと理由

ezorockに入ったのは今年の夏のふくしまキッズがきっかけでした。教師を目指している私は、子どもと接することができる活動に取り組みたいと思い、このボランティアに参加しました。ふくしまキッズは函館の大沼を拠点とした活動でしたが、私は子どもたちの旅期間にあたる一週間、松前町で福島子どもたちと大変貴重な時間を過ごしました。ずっと札幌で育ってきた私は、函館の大自然にも感激し、北海道の良さにも改めて気づくことができました。そして、より北海道が好きになりました。ボランティアはその時が初めてで、不安なことや考えることもたくさんありましたが、今後もこのような活動に携わっていきたいと思いました。

●将来の夢

現在は北海道教育大学岩見沢校で書専攻として学んでいます。書道史や書理論はもちろんですが、筆を使って紙の上でどのように表現するかなどをして、日々書に励んでいます。将来は高校書道の教師になりたいと思っています。字を書く面白さや、筆で表現することの楽しさを伝えていきたいです。また来年度からは就職のため札幌を離れ、今金町に行きます。これから大好きな北海道で、今度は函館チームとして活動していきたいと思っています！みなさんどうぞよろしくお願いします！

【常識】…社会の構成員が有していて当たり前のものでしている価値観、知識、判断力のこと。対義語は非常識。その社会に適した常識を欠いている場合、社会生活上に支障をきたすことも多い。(ウィキペディアより)
おお、おそろしや〜。これでは常識が無いと生きているいけない感じがする。社会秩序のため、一定の共通認識がないと大変なことになるというのは想像できる。では「常識」と違ふという事がそれほど悪いことだろうか？
自ら命を絶つことが若者の死因の1位を締め、9割近い人が将来生きてい

くことを不安に思っている国、日本。不況を元凶とする経済問題が大きく影響しているのは間違いないが、不安の原因の一つとしてあげられている、厭世(えんせい)：世の中はいやなもの、人生を価値のないものと思ふことというものに注目してみたい。すると、学業や仕事、親との関係など「常識人が考える」ことでなければいけないという「常識」と、自分の現実が一致しないことによるストレスがこの厭世に大きく影響しているようだ。常識と自分が一致しない↓罪悪感や不安↓厭世という流れだ。さらに追い討ちを

かけるように、常識どおりに生きてても経済的安定の保証も見えないというダブルパンチ。(書いていてもゲンナリする位の暗いスパイラル…)そこで紹介したいのが「良識人」という言葉。常識人が常識を盾にして非常識を断罪するのに対し、常識に対して疑問を持てる人が良識人。常識とは普遍的な真理ではない。社会が進えば常識も違ふ。日本の常識も大きく見直す時期なのかもしれない。
結論：自分や大切にしたい人や社会が幸せになると思うのなら、常識とは違っても良いじゃないか笑

常識もほどほどに!?



第六号

文・やっくん